2022年4月22日

パーソナルデータ＋α研究会

「プロファイリングに関する最終提言案」及び同付属「最終報告書(案)」に対する意見募集結果

No.	意見提出者	案にに対するご意見	ご意見に対するコメント
1	（個人）	Acountabilityの確保に関し、人生に重要な影響を与える決定に関与するAIプロファイリングには、事後に第三者が検証可能とするよう入力データ、モデル、出力結果を５年間程度保全することをご検討されてはいかがでしょうか。	このたびは貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございます。一般論として事後の検証可能性を担保するための記録保存を行う方向性は有益であると考えられます。もっとも、記録保存期間に関しては各企業・組織において定められている文書規程等との整合性を検討して判断していくべき部分もあると考えられ、当研究会として一律の保存期間を示すことは困難であり、将来の課題としたいと考えます。
2	（個人）	【最終報告書(案)1-4へのご意見】 1-4に「リスクベース・アプローチの検討」が追加されたことに賛同します。 ただ、ここでは「リスクに応じた」として、カテゴリー分けが示唆されるにとどまっているのは中途半端な印象です。欧州等では今後当たり前になると思われるので、これとは別項目として、発生可能性と影響の大きさの二軸からなるリスクマップを作成して、リスクが受容可能なまでに低いことについてリスクコミュニケーションするというところまで踏み込んだ項目（「リスク評価の実施と公表」）を立てるべきだと思います。星は1つでよいと思いますが。	1-4に関してご賛同いただきまして、誠にありがとうございます。ご指摘のとおりリスクマップを作成していくことは重要だと考えます。もっとも、リスクベースアプローチといっても現時点では多様なものがあり、またリスクの評価の実施と公表をどのような条件下で求めていくべきか、という問題もあります。各分野や各組織で本提言の内容を具体化する過程において、リスクマッピングが行われることを期待します。

（合計2件）